

# 全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会の 併設競技の実施方法の標準

全国高校生中学生オリエンテーリング連盟

## 1. 目的

全国高校生中学生オリエンテーリング連盟（以下「本連盟」という）は、全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会（以下「大会」という）の目的をよりよく達成するために、より多くの生徒や生徒以外の者も含めて、広く競技を行う環境を整備することを目的として、併設競技を実施するためにこの標準を定める。

## 2. 適用

この標準は、大会の併設競技を標準的な形態で開催する場合に適用する。標準的でない形態で開催する場合には、この標準を併設競技の形態と齟齬がない部分について適用する。

## 3. 区分・呼称

併設競技と区別する場合、開催基準に定める基本的な競技を「選手権競技」または「選手権クラス」と呼ぶ。

併設競技のうち、中学生、高校生を対象としたクラスを「併設ジュニアクラス」という。併設ジュニアクラス以外の、広い年代を対象とするクラスを「オープンクラス」とする。

## 4. 併設競技の位置づけ

併設競技の運営形態は、他団体との関係、競技特性の違い及び一体性等を考慮して大会委員会の承認の下で決定する。

典型的には次のような方式がある。

- (1) 完全分離方式 併設競技の一切を本連盟または他団体の主催する別の競技会として開催する。
- (2) 一部分離方式 併設競技のうち、併設ジュニアクラスを大会の一部として開催し、オープンクラスを本連盟または他団体の主催する別の競技会として開催する。
- (3) 一体方式 併設競技の一切を本大会と一体的に開催する。

## 5. 併設競技の内容

併設競技は、選手権競技と類似の内容の競技を行うことが望ましい。

参加機会を確保するため、団体競技ではマススタートによる個人競技のクラスを設けることが望ましい。

エンターテインメント性や、併設競技に持たせるその他の機能を考慮して、一部または全部を選手権競技と異なる内容としてもよい。

## 6. 併設ジュニアクラスの団体競技

併設ジュニアクラスの団体競技では、なるべく同一校の同一性別、同一教育段階の者でチームを組む。この条件を満たすチームを正規チームと呼ぶ。

次に、男女混合、加盟員内での階級、学校混合、加盟員間の混合とする。こういったチームを混成チームと呼ぶ。加盟員間の混合は、実行委員会が斡旋する。

## 7. クラス

### 7.1. 原則

併設競技では、多数のクラスを設けることが一般的である。

併設ジュニアクラスでは、教育段階及び男女の別でクラスを設けることを原則とする。必要な場合、年齢別としてもよいが、年齢制限に下限を設けてなるべく教育段階と一致させることが望ましい。

### 7.2. 参加資格

併設ジュニアクラスで、教育段階でクラスを設ける場合は、該当教育段階にある児童及び生徒に参加資格を限定する。中学生及び高校生を対象とするクラスでは、本連盟の加盟員に所属しているか、個人加盟員であり、選手登録をしていなければならない。

### 7.3. クラス名・クラス分け

選手権クラスも含めて、一般的なオリエンテーリングの競技会で用いられるクラス名を付す。

一部分離方式または一体方式で開催する場合のクラス分けは「全国中学校高等学校オリエンテーリング選手権大会のクラス分けに関する規程」に定める。

## 8. 併設競技の水準

併設競技は、公益社団法人日本オリエンテーリング協会の日本オリエンテーリング競技

規則及び競技規則の関連規則類に則って開催することが望ましい。

#### 9. 観戦環境の確保

併設競技の参加者は、選手権競技の応援や観戦もすることに配慮したスケジュールを設定することが望ましい。ただし、競技情報の漏洩に注意する。

#### 10. 表彰

併設競技の各クラスに対して表彰を行っても良い。

併設競技の各クラスの表彰対象は、次の通りとする。ただし、競技者が少ない場合は変更してもよい。

分類	対象	
個人競技の併設ジュニアクラスの各クラス	上位 3 名	
団体競技の併設ジュニアクラスの UJ クラス	正規チーム	教育段階、男女別に各上位 1 校
	全チーム	上位 3 チーム、女子のみのチーム及び中学生のみのチームで各 1 チーム
オープンクラス	上位 3 名もしくは 3 チーム又は 1 名もしくは 1 チーム	

併設競技の各クラスの表彰は、賞状の授与を原則とする。